

1985

「白水社アートコレクション」(美術史・理論)白水社、～88、9冊 \$/M)

\*刊行順

『名画とは何か』(ケネス・クラーク著、富士川義之訳)1985年

『ピラネージの黒い脳髓』(マルグリット・ユルスナール著、多田智満子訳)同年

『絵画の略奪』(ヒュー・トレヴァー=ローパー著、樺山紘一訳)同年

『ピサネロ装飾論』(杉本秀太郎著)1986年

『光の粒子：スーラの粧いの術』(黒江光彦著)同年

『コラージュ論』(池田満寿夫著)1987年

『「写真と絵画」のアルケオロジー：遠近法・リアリズム・記憶の変容』(伊藤俊治著)同年

『手段と目的：フレスコ画の歴史』(E.H. ゴンブリッチ著、高階秀爾訳)1988年

『セザンヌは何を描いたか』(吉田秀和著)同年